

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	局所進行胃癌における術前補助化学療法のレジメン選択 mRNA マーカーのタンパク質発現の検討
	研究目的	われわれは局所進行消化器癌に対し、術前補助化学療法を投与後に根治切除 + 術後補助化学療法を施行した症例を対象とし、術前補助化学療法の投与前に内視鏡で採取した生検組織を用い、術前の癌の生検組織において発現レベルによってレジメンを選択しうる遺伝子として、合計 10 種類の遺伝子をバイオマーカー候補として同定した。これらのバイオマーカー候補について、NAC を施行した 50 症例の生検検体を用いて、各遺伝子がコードするタンパク質を免疫染色し、その臨床的有用性を評価する。
	研究対象者	2005-2014 年に胃癌に対して術前補助化学療法を施行して手術を施行した症例のうち、術前補助化学療法前の標本を有する症例
	研究期間	西暦 2020 年 1 月 8 日 ~ 西暦 2020 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器外科 胃食道 部長 大島 貴
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科 胃食道 病理診断科 臨床研究所
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし